

## 文化振興拠点部会 検討結果報告

三重県文化審議会  
文化振興拠点部会

### 1 はじめに

#### 文化振興とは

文化とは、「人間が自然とのかかわりや風土の中で生まれ育ち、身に付けていく立ち居振る舞いや衣食住をはじめとする暮らし、生活様式、価値観など、およそ人間と人間の生活にかかわるすべてのこと」(文化芸術振興基本法)とされています。

このような定義を言い換えると、文化とは、人間社会のなかで生まれ、発展するものであるということがいえます。

このため、文化を振興させるのは、私たち一人ひとりであり、三重に住む私たちが、地域の文化を創造し、つなげ、発展させていく活動と考えられます。

そして、一人ひとりや団体の活動を支え、発展させていくためには、行政や企業などの役割が重要です。

県や市町は、県民一人ひとりや団体等の活動を支援するとともに、文化活動とその成果をより広げ、高めていくための環境づくりを行い、また、企業等も、文化の振興が地域や人類の発展に寄与することを踏まえ、文化振興の取組を一層進めていくことが求められます。

#### 文化振興のミッション（三重の文化振興方針（仮称）の目標）

県民一人ひとりが文化に触れ親しむことは、自分をみつめ、他人を思いやり、自分たちの暮らす地域に目をやることにつながります。文化振興により、一人ひとりの成長と自己実現をはかり、地域の絆や地域を思う心が育つような社会づくりをめざします。

また、文化は、地域に住む私たちが継承、創造、発展させてきたものです。私たちの暮らしや考え方、地域の特徴が表れています。文化振興により、地域のアイデンティティ（個性）を明確にするとともに、一人ひとりのもつ力の高まりによって、地域のもつ潜在的な力を高め、住む人にとっても、訪れる人にとっても魅力的な地域づくりをめざします。

## 2 文化振興拠点について

### 文化振興拠点とは

文化振興拠点は、各々の拠点のもつ特徴に応じた役割を果たしながら、文化振興がめざすミッション（使命）を実現するために重要な役割を果たします。

#### (1) 拠点到求められる機能

拠点は、広く開かれた場所で、

- ・一人ひとりの生涯学習を支援する機能（学習支援）  
本人の学習ニーズに対する支援だけでなく、未来に向けて社会の一員として必要な学習内容を提供する。
- ・一人ひとりの文化活動を支援する機能（活動支援）
- ・多様な文化情報を紹介し、広める機能（情報提供）
- ・利用者等に、いかに文化に触れ親しみ、文化活動に参加してもらうかについての企画立案機能（企画立案）
- ・文化活動や人をつなげる機能（コーディネート）
- ・よりレベルの高い拠点活動を行うための機能（調査・研究）
- ・専門性をもった人材を育成する機能（人材育成）

また、これらの機能は、すべてを均等に備えるということではなく、拠点の目的、特徴等によってどの機能を優先するという考え方をすべきです。

#### (2) 拠点が機能するために必要なこと

- ・施設を拠点として機能させるためには、施設を使いこなせる県民が必要
- ・施設を機能させるための人材  
施設を機能させる上で必要な専門知識をもった人材（学芸員、司書など）  
コーディネーター（活動や人をつなげる人材）  
インタープリター（解説や案内を行うことで施設利用を助ける人材）  
管理・運営する人  
ボランティアなどの支援者 など
- ・運営資金
- ・拠点を支援する組織、体制

### 3 文化振興拠点の役割等について

#### (1) 設置者や立地等の別からみた期待される役割

拠点到共通する機能は備えつつも、施設の設置者、規模、立地等により、特に期待される機能や役割があると考えられます。

区分	特に期待される役割等	視点	
		近接性	専門性
広域の拠点	市町を越えた広域又は県域をカバーする、さらに他県をリードできるような拠点として、位置づけられます。そして、市町や身近な拠点の補完的な役割と個々の取組が難しい専門人材の育成、専門性の高いシンクタンク、連携拠点としての役割などが期待されています。 例：県全体の図書館(又は博物館等)機能の向上		
市町の拠点	広域の拠点到準じたシンクタンク、連携拠点としての役割を期待されることがあり、また、市町にひとつしかない場合など、個々の住民へのサービス提供の拠点としての役割も期待されます。 例：住民一人ひとりの活動を支援するとともに、市内の図書館機能の向上		
身近な拠点 (地域別、主体別)	地域や主体別の身近な拠点是、住民一人ひとりにもっと身近な学びと文化活動の場としての役割を期待されます。また、誰もが文化や情報にアクセスし、適切な支援をしてもらうことができる最も身近なアクセスポイントとしての役割があります。 例：住民一人ひとりの図書への身近なアクセスポイントとなり、必要に応じ市町や広域の拠点到案内することが求められます。		

視点 近接性：県民からみたアクセスのしやすさ

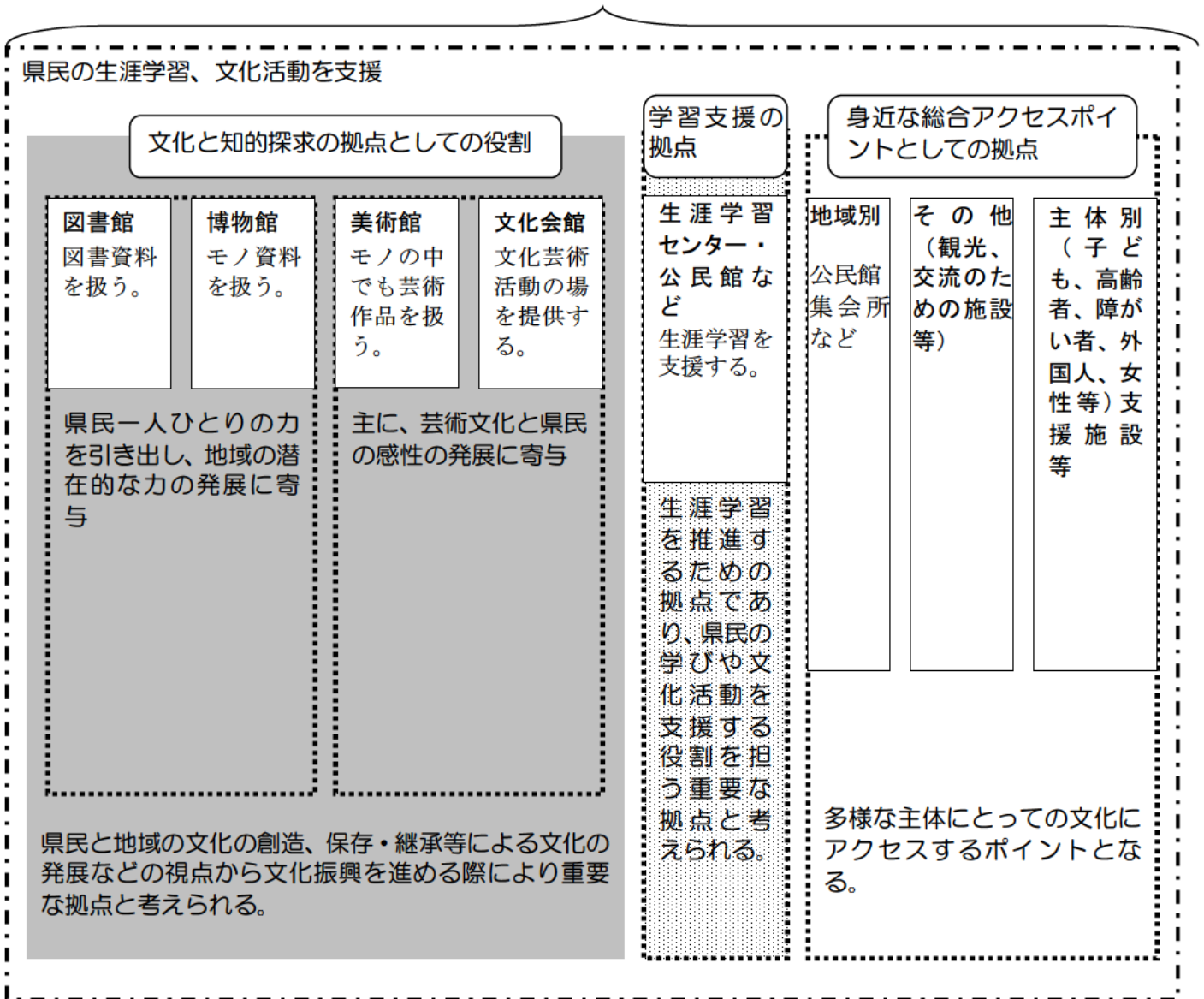
専門性：個々の施設で取り組むことが難しい(効果が上がらない)より専門性の高いシンクタンク機能(知識、情報の集積)や人材育成機能

上記表では、視点、について、より期待が大きい役割を、大きい順に、で表しています。

(2) 設置目的、機能の特徴からみた期待される役割分担

どの施設も、複数の役割も担っていることが多いが、ここでは、役割分担のめやすとするため、主な役割として整理しました。

総合的に文化振興に寄与



- ※・美術館も博物館法上は、博物館に分類されるが、独立して整理を行った。
- ・「その他」の施設のなかには、博物館に類する機能をもつものもある。
- ・「主体別支援施設」のなかには、図書機能、場の提供機能、生涯学習機能を部分的にもつものもある。

4 県が設置する「図書館」、「博物館」、「美術館」、「文化会館」、「生涯学習センター」に求められる機能等について

**図書館**

特徴：図書、記録資料を扱う。  
 業務：一人ひとりのニーズに応じて、知識、知恵などの情報を的確に提供する。  
 役割：県民一人ひとりの自主的な活動と自己実現を支援する。地域の多様な知的活動、産業活動等を高め、支援する。  
 機能：・情報検索（レファレンス）による情報収集、成果活用支援  
 ・図書貸し出し、講座等提供による学習支援、調査・研究  
 ・講演会等交流支援

**図書館とは**

図書資料を通じ、人類の英知、国内外の知識情報に触れることで、一人ひとりの考える力、創造性を育む、地域の知的生産、創造の拠点

**博物館**

特徴：歴史、民俗、産業、自然科学等に関するモノ資料を扱う。  
 業務：資料を収集・保存・継承し、展示等により、資料の活用と情報を発信する。  
 役割：県民一人ひとりの自主的な活動と自己実現を支援する。地域の過去、現在をあらわし、地域づくりや課題解決を支援するとともに、未来にむけた地域アイデンティティの明確化・発信につなげる。  
 機能：資料の収集・保存・活用、展示、情報提供・発信、普及・教育、調査・研究

**博物館とは**

地域の歴史、自然、文化に関するモノ資料を通じ、過去、現在の自然、暮らしや文化を知ること、自分や地域の今を振り返り、未来に向けて考察する拠点

県民一人ひとりの力を引き出し、地域の潜在的な力の発展に寄与

**美術館**

特徴：モノの中でも芸術資料を扱う。  
 業務：資料を収集・保存・継承し、展示等により、芸術資料の活用と情報を発信する。  
 役割：県民一人ひとりの自主的な活動と自己実現を支援する。優れた芸術作品の鑑賞機会を提供し、県民の文化芸術に関する素養を高めるための支援を行う。  
 機能：資料の収集・保存、展示・活用  
 情報提供・発信、普及・教育  
 調査・研究

**美術館とは**

作品を通して、作者の生き方や考え、世界や地域の自然、暮らし、文化に触れることで、自分や地域を振り返り、一人ひとりの芸術性と感性を育む拠点

**文化会館**

特徴：文化芸術活動の交流（鑑賞、発表）の場  
 業務：優れた音楽、舞台芸術等の鑑賞機会を提供するとともに、県民に発表の場を提供する。  
 役割：県民一人ひとりの自主的な活動と自己実現を支援する。優れた文化芸術作品の鑑賞機会を提供し、県民の文化芸術に関する素養を高めるための支援を行う。  
 機能：場の提供、情報提供・発信、普及・教育、調査・研究

**文化会館とは**

さまざまな音楽、舞台芸術などを通して、作者の生き方や考え、世界や地域の自然、暮らし、文化に触れるとともに、自らが活動の主体となって自己表現を支援することで、地域全体の芸術性と感性を育む拠点

主に、芸術文化の継承・創造・発展と県民の感性の醸成に寄与

### 生涯学習センター

特徴：生涯学習の拠点として、生涯学習を進める上での様々な情報をデータベースとしてもつ。

業務：一人ひとりのニーズを把握しつつ、生涯学習に関する各種情報を的確に提供するとともに、生涯学習に関する多様な学習等の機会を開発し、提供する。

役割：県民一人ひとりの自主的な学習活動と自己実現を支援する。

各種情報収集・整理・提供、調査・研究にもとづく県内の市町や生涯学習施設への支援を行う。

機能：生涯学習に関する各種情報を収集・整理し県民に提供、レファレンスサービス、調査・研究、学習・研修機会の提供、場の提供



### 生涯学習センターとは

県民一人ひとりの学習ニーズを把握しつつ、さまざまな学習支援、機会の提供を行うとともに、県内の市町や生涯学習拠点の支援を行う生涯学習を推進する拠点

生涯学習を推進するための拠点であり、県民の学びや文化活動を支援する役割を担う重要な拠点と考えられる。

## 5 第3回以降の部会において検討すべき事項

拠点間の連携について

誰もが文化へアクセスできる環境について

拠点を機能させるために必要な取組について

- ・人材育成
- ・交流（プラットフォーム）
- ・連携

県が設置する拠点に求められる役割、機能等をふまえた文化振興拠点の姿など

## 検討経過

### 8月23日(木) 第1回文化振興拠点部会

- ・ 部会設置の趣旨と検討スケジュールの確認
- ・ 文化振興のための「場」と「拠点」について

県民が地域のさまざまな「場」(=場所、機会)で、文化に触れ親しみ、交流し、創造、発信している状況(=文化振興のすがた)を思い描きながら、文化振興のあるべき姿や文化振興拠点の果たす機能・役割等について、自由に意見を交換しました。

### 9月3日(月) 第2回文化振興拠点部会

- ・ 文化振興拠点について

第1回文化振興拠点部会の検討内容から、文化振興拠点の機能等について明らかにしました。(文化振興拠点とは、求められる機能等、拠点が機能するために必要なこと、文化振興における拠点を考える視点等)

- ・ 文化振興拠点の役割等の整理について

文化振興拠点を役割等について2つの視点から整理・検討しました。  
( 設置者や立地等から、 設置目的・役割・機能の特徴から )

- ・ 県立の「図書館」、「博物館」、「美術館」、「文化会館」に求められる機能について

県立のこれら4種の施設に「求められる機能」、「拠点が機能するために必要なこと」等について検討しました。

- ・ 文化振興拠点部会報告(案)について